

# 日本看護技術学会 第23回学術集会 交流セッション 日本看護技術学会 第7回若手の会 活動報告

開催日時：2025年 10月12日 13:10～14:10

開催場所：日本看護技術学会 第23回学術集会 交流セッション9

京都大学 国際イノベーション棟（大会長：若村 智子〈京都大学〉）

第23回の学術集会において、若手研究者の支援を目的に交流セッション「第7回若手の会（研究活動推進委員会企画）」を開催しました。今年は昨年引き続き若手研究者の交流ができるカフェテリアと題して、「**介入研究で使用する統計を学び合えるカフェテリア**」を開催し、お茶を楽しみながら語り合いました。今回の会では、実験研究にこれから挑戦しようとしている方から統計を絶賛勉強中の大学院生の方まで、いろいろな方にご参加いただけ、これまでに引き続き“若手の会”ならではの顔ぶれとなりました（参加人数：17名）。

当日は、いろいろな実験デザインの例を提示し、それぞれの実験デザインでどのような統計学的検定を使用するのかを議論しました。「**実際のところパラメトリック検定とノンパラメトリック検定はどのようにして決めているのか？**」や「**データ収集回数と多重性の問題はどうか解決すべきか？**」といった疑問や、「**そもそも正規性の検定は絶対にしないといけないのか？**」といった、統計解析をする上で一度は悩んだことのあるテーマに切り込みました。終了後はお互いに名刺交換を積極的に行ってもらい、今後切磋琢磨していく仲間が増えたかと思えます。

研究活動推進委員会は今後もこのような機会を積極的に作り、『若手の会』が若手の研究者・臨床家・教育者の皆様への情報提供や情報交換の場になるよう取り組んでまいります。今後ともご参加・ご協力よろしくお願い申し上げます。最後に、交流セッションの場を提供してくださった第23回学術集会企画委員の方々に感謝申し上げます。

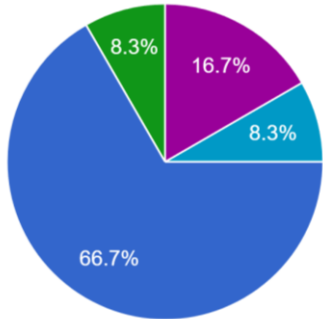
研究活動推進委員会 若手の会 担当

## 【当日の交流セッションの様子】



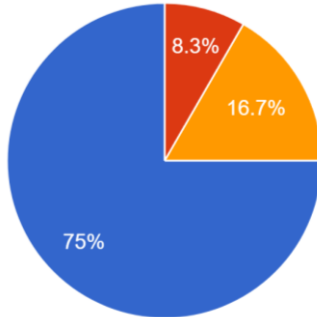
# 日本看護技術学会 第7回若手の会 参加者アンケート集計結果

## Q1 今回の交流セッションを 何で知りましたか



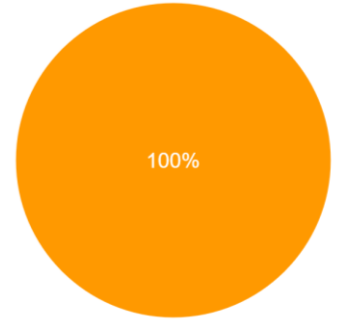
- 日本看護技術学会のHP
- 学会員からのお誘い
- その他
- 大会プログラム

## Q2 今回の交流セッションに参加した きっかけを教えてください



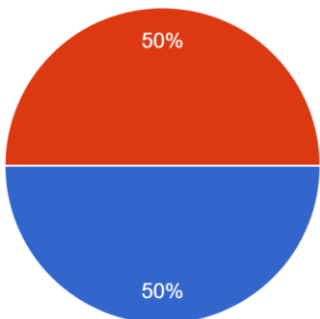
- テーマに興味があったから
- 若手の知り合いを増やしたいから
- 知り合いが参加していたから

## Q3 今回の交流セッションの 時間はいかがでしたか



- かなり長かった
- 少し長かった
- ちょうどいい長さだった
- 少し短かった
- かなり短かった

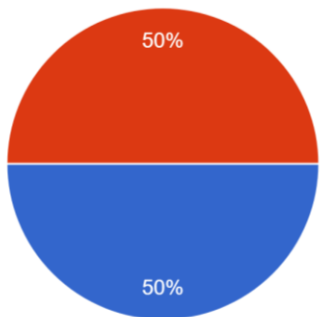
## Q4 今回の交流セッションの内容はいかがでしたか<理由・ご感想・ご意見>



- とても満足している
- 満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない

- ・面白かった 参加者負担はまあまああった笑
- ・他の参加者の方と議論できたので。
- ・実際に研究計画をたてて、実験を行ったが、検定方法に悩んでいたため
- ・解析者目線で解説してくださってくれたから。
- ・苦手だった統計について聞くことができたから。
- ・これから行う分析について視野を広げることができました。
- ・他の先生方の考えや意見を知れて、勉強になりました。
- ・検定手法を学ぶことができたためです。

## Q5 また次回も参加したいと思いましたが<理由・ご感想・ご意見>



- また参加したいと思う
- できれば参加したいと思う

- ・統計について悩んでいる事と、その悩みについて、いろいろな視点から考えることができる事、とても学びになりました。明日からも結果の分析を頑張りしたいと思います。
- ・実践的だから。
- ・若手の交流の機会があってよかった
- ・色々な先生方と交流が図れるため
- ・自身が介入研究するとなった際に再度考察したいと考えるため。

## その他

- ・今回はきれいなデータでの例だったと思いますが、そうでない時の事例とかがあるとより議論が深まるように思いました。
- ・最後の方の統計の話で、効果モデルについて話が出てたので詳しく聞いてみたいです。
- ・統計の応用編についても勉強できる会があると嬉しいです。
- ・ご講義いただきありがとうございました。